

若手職員、若手技術者の育成及び技術力の向上 ～河川の流量観測に関する基礎講座開催のお知らせ～

河川の流量観測は、治水計画の立案や洪水予報等の河川管理、さらには水利用や河川環境を把握するための基礎資料となるものです。そのため、正確な観測やデータ整理を行うことは重要であり、流量観測に携わる技術者の育成は必須となります。

今回、金沢河川国道事務所と流量観測業務を受注している(株)国土開発センターが共同で、それぞれの若手技術者を対象とした、河川の流量観測に関する基礎講座を開催します。

1. 開催日時

平成 29年 5月 23日 (火) 9:30～16:00

2. スケジュール (※ 詳細な場所は、別紙参照。)

(1) 高水流量観測 (9:30～12:00)

場 所：小松市大川町 (大川資材倉庫, 小松大橋 上流左岸)

(2) 低水流量観測 (13:00～14:30)

場 所：小松市埴田町 (埴田水位観測所, 鴨浦橋 下流右岸)

(3) 水位流量曲線の作成等のデータ整理 (14:45～16:00)

場 所：国土交通省 小松出張所 3F 会議室 (前川排水機場)

※現地での流量観測実習や観測データのとりまとめ手法等を基本に実施します。

3. 参加者

発注者) 国土交通省 金沢河川国道事務所 6名

受注者) (株)国土開発センター 約 40名

4. その他

取材を希望される場合は、詳細な集合場所をお伝えしますので、事前にご連絡下さい。



低水流量観測状況



高水流量観測状況 (浮子投下)

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

調査第一課長 浮田 博文

TEL : 076-264-9910 (直 通)

FAX : 076-233-9612

■流量観測の目的とは

長年に渡って継続的に観測を実施することで、その観測結果を河川計画の立案に反映させ、洪水予報等の河川管理の基本とするためである。

■高水流量観測とは

主に洪水時の流量を観測するために行われるものである。

【観測の方法】

橋の上などから「浮子」を投下し、これが一定距離の区間を通過する時間を計測することにより、流速を求める。

■低水流量観測とは

平常時の流量を観測するために行われるものである。

【観測の方法】

主に流速計を用いて、流速を計測する。

※流速から流量への変換は、流速 (m/s) × 横断面積 (m²) = 流量 (m³/s) を用いる。

■水位流量曲線 (H-Q 曲線) とは

一般に、流量は連続的に観測することができないが、水位は連続的に観測できる。観測地点の水位(H)と流量(Q)の関係を求め、連続的に観測できる水位データにより、観測した水位に対応する流量を算出することができる。H-Q 曲線とは、水位と流量の関係をグラフ化したものである。

【別紙】 流量観測基礎講座位置図

